

世田谷区立深沢小学校（深沢まちづくりセンター・社会福祉協議会
 深沢地区事務局・深沢あんしんすこやかセンターとの複合化検討）
 改築整備方針について

1 主旨

世田谷区立深沢小学校は、「世田谷区公共施設等総合管理計画一部改訂（第2期）」において、令和7年度より施設更新に着手する学校に選定している。
 このたび、世田谷区立深沢小学校の整備手法及び配置計画の方向性について改築整備方針を取りまとめたので報告する。

2 改築整備方針（案）

（1）基本的な考え方

① 整備手法

「世田谷区公共施設等総合管理計画一部改訂（第2期）」では、棟別全棟整備を基本としている。棟別に改修の可能性を検討した結果、下表のとおり全面改築とする（各棟の配置はP.4「（2）現在の校舎配置」参照）。

管理教室棟 (S47～S49) 【築53年～築51年】	・老朽化度合いを調査した結果、長寿命化に不向きであるため、改築とする。
管理教室・特別教室棟 (S37～S47) 【築63年～築53年】	・日影規制の既存不適格により周辺への影響があるため、改築とする。
屋内運動場 (S41) 【築59年】	・適切な教育環境が確保できないため、また、改修工事中に必要となる仮設体育館を抑制するため、改築とする。
プール・更衣室棟 (S45) 【築55年】	・適切な教育環境が確保できないため、改築とする。

② 仮設校舎の抑制

改築工事を2期に分け、校庭に1期新校舎を建設し、既存校舎を解体後、2期新校舎を建設する計画とし、仮設校舎を設けずに改築する。

③ 改築中の対応

校舎解体工事から2期工事完了までの給食は、太子堂調理場からの受け入れにより提供する。校庭利用やプール利用については、近隣校と連携するなど計画的な授業の実施ができるよう取り組む。

④ 校庭の整備

校舎配置の変更に伴う近隣住宅地への影響や、校庭の利用状況等を踏まえ、舗装材（クレイ系、ゴムチップ、人工芝等）の検討を行う。

⑤ 複合化の検討

「世田谷区公共施設等総合管理計画一部改訂（第2期）」を踏まえ、同時に改築時期を迎える深沢まちづくりセンター・社会福祉協議会深沢地区事務局・深沢あんしんすこやかセンター（築59年）との複合化に向けた検討を進める。

⑥ 配置計画

新校舎は敷地北側及び東側に配置し、既存樹木に配慮しながら校庭は南側に配置する。

（2）敷地概要

所在地	新町1丁目4番24号
敷地面積	11,658.51m ²
都市計画等	第一種低層住居専用地域、容積率100%、建ぺい率50%、第1種高度地区、準防火地域

（3）施設概要

深沢小学校の延床面積は、「学校改築ガイドライン（令和7年6月改訂版）」に基づき、普通教室、特別教室、管理諸室、屋内運動場、特別支援学級、特別支援教室、防災倉庫等を確保し、約8,486m²とする。

構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階建 ※工期、資材搬入等の状況を踏まえ検討する。		
延床面積	約8,486m ²		
面積内訳	建物（棟）	既存	整備後
小学校	改築 管理教室棟 管理教室・特別教室棟 屋内運動場 他	約6,756m ²	約8,486m ²
まちづくりセンター	改築 深沢まちづくりセンター・社会福祉協議会深沢地区事務局・深沢あんしんすこやかセンター	約310m ² (内あんしんすこやかセンター約26m ²)	公共施設設計標準仕様書に基づき、今後検討していく。

※建築基準法による高さの許可を取得予定

① 深沢小学校

教室（特別教室、管理諸室等を除く）として24教室（普通教室21室、ワークスペース3室）と、特別支援学級等として6教室分の面積を想定する。

ア) 普通教室

学務課の推計による児童数の予測（令和7年8月1日現在）は下表のとおりである。通学区域における集合住宅の建設状況等を考慮し、普通教室は21教室を確保する。

年度	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031
生徒数 (クラス数)	664 (23)	664 (23)	665 (23)	650 (23)	635 (22)	609 (21)	573 (20)

イ) 特別支援学級等

「世田谷区立小・中学校特別支援学級等整備計画（令和7年度～令和9年度）」では、インクルーシブ教育を推進し、地域の学校で学ぶことを基本とするため、改築計画等を踏まえて計画的な学級の整備を進めることとしている。

整備計画の方針を踏まえ、特別支援学級の新設を想定する。特別支援教室（すまいるルーム）は現行と同じく拠点校の位置付けとし、2教室分を確保する。

3 概算経費

(1) 概算総事業費

約72.4億円	<ul style="list-style-type: none"> • Nearly ZEB化にかかる費用を含んでいる。 • 校庭舗装、外構、植栽及び駐輪場等の整備費は含まない。
---------	--

※概算事業費総額が10億円以上となる本件整備事業は、「公共施設等総合管理計画一部改訂（第2期）」に示す官民連携手法の検討対象事業に該当するが、施設の開設時期を踏まえ、従来手法による施設整備を進めていく。

(2) 施設維持管理費

約3,850万円/年	• ZEB改築による光熱費削減額を考慮している。
------------	--------------------------

(3) 特定財源

約0.6億円（見込）	国庫補助事業（学校施設環境改善交付金）
------------	---------------------

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年度	基本構想
令和9年度	基本設計
令和10年度	実施設計
令和11年度	実施設計、プール解体工事、改築1期工事
令和12年度	改築1期工事
令和13年度	改築1期工事完了、校舎解体工事
令和14年度	校舎解体工事、改築2期工事
令和15年度以降	改築2期工事完了、体育館解体工事、外構・校庭整備工事他

【参考】施設の概要

(1) 周辺図



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

(2) 現在の校舎配置



■整備前

1棟: 管理教室棟	3,037 m ²
2棟: 管理教室・特別教室棟	2,746 m ²
3棟: 屋内運動場	597 m ²
プール・更衣室棟、倉庫他	376 m ²
計 約 6,756 m ²	

(3) 整備後の校舎配置イメージ



■整備後

深沢小学校 約 8,486 m²